

「市長への手紙」HP掲載データ（令和3年4月分）

見出し	0304-3 小中学校を集約した事前防災
ご意見	大川目地区と宇部地区の小学校・中学校に久慈市の児童生徒を集約する形で「学校事前防災」を図るべきではないか。
回答	<p>ご提言の児童生徒の集約につきましては、久慈地区の生徒数や先生、学校関係者の総数を考慮いたしますと、集約先学校の施設規模では教育環境が大変厳しくなることが予想され、実現は非常に困難であると考えております。</p> <p>また、仮に集約先の学校施設を拡大するにしても、財政面や各地域住民の合意形成が必要であるほか、現在の市総合計画や市学校施設保全計画等の大幅な見直しも必要となるため、早急な対応はきわめて困難であります。</p> <p>現在は、津波対策として湾口防波堤などのハード整備が進められておりますが、大津波をハード対策のみで防ぎきることは難しく、「大地震が起きたらまずは逃げる」ことを徹底させる必要があると考えております。岩手県では今年度を目途に、詳細な津波浸水シミュレーションを実施していますので、市においてもその結果を踏まえながら、適切な避難ができる体制を整えることで、児童生徒の安全を守ってまいります。</p>
担当課	教育総務課 電話：0194-52-2154